

巖流島 豆知識

①所在地は下関市大字彦島宇船島648番地。島の形が舟に似ていることから、正式な名称は「船島／ふなしま」となっています。武蔵に敗れた小次郎の流派「巖流」をとって、巖流島と呼ばれるようになりました。
 ②決闘が行われた当時の巖流島の面積は、現在の1/6。決闘が行われた当時の巖流島の面積は、わずか17,000㎡。その後、明治から大正にかけて埋め立て工事が行われ、現在では当時の約6倍にあたる103,000㎡になりました。

③展望広場にある武蔵・小次郎像は、小次郎像が2002(平成14年)年12月11日、武蔵像が2003(平成15)年4月14日に除幕されました。武蔵像の完成が遅れたのは、決闘に遅刻したという史実にあわせてかも…。
 ④現在は無人島になった巖流島ですが、1973(昭和48)年までは人が住んでいました。

① 展望広場

関門海峡の中央に浮かぶ巖流島は、まさに「海上公園」。関門橋や海峡を行き交う船を眺めながら、のんびり過ごしてみませんか。

② 憩いの広場

コンサートなどに利用されるステージを備えた開放的なスペース。島内には、この広場を中心に、遊歩道と4カ所の休憩所が整備されています。



③ バーベキューサイト (憩いの広場)

関門海峡の雄大な景観を眺めつつ、決闘の聖地でバーベキューを楽しんでいただけます。

④ 舟島神社

巖流島(船島)の神様が奉られている穴場スポット。決闘の聖地、巖流島の神様に祈願すれば、勝負ごとも成就するかも。



⑤ 佐々木巖流之碑

碑文に「船島開鑿工事成功之際建立」とあります。1910(明治43)年10月31日島の中央に建てられましたが今は少し位置がかわっています。碑は高さ120cm、幅65cm、厚さ45cmの自然石で造られています。



INFORMATION

巖流必勝タヌキに逢える…かも?

巖流島にはいつの頃からか、タヌキが住むようになりました。近くの彦島から泳いできたという話もありますが、もしかすると小次郎の弟子が待っていたといわれる「彦島弟子待(でしまつ)」から、弟子たちが化けて渡ってきたのかもしれない。



必勝タヌキ 島の人気者のタヌキ君。タヌキは「他を抜く」と言われ、勝負には縁起のよい動物。逢えれば必勝まちがいなし!!

令和7年3月改訂

⑥ 巖流島文学碑

アクリル板に、画家古館充臣氏が描く、小次郎と武蔵の決闘の場面が焼付けられています。碑文「白い雲のわいている空に、小次郎の面影が見える。この後も絶えず兎禰(とね)・村上元三作『佐々木小次郎』に登場する小次郎の恋人の名)の眼に浮かんで消えることのないであろう小次郎の生きている面影があった。」
 (村上元三作「佐々木小次郎」より)



⑦ 遊歩道

関門海峡の真ん中から関門橋を眺めることが出来るのは、ここ巖流島だけ! 棧橋から展望広場まで、松林の中の海峡散歩をお楽しみください。



⑧ ビュースポット看板

関門橋を真正面から望み、右に門司港、左に下関の街並みを見渡せる絶好のスポットです。



⑨ 武蔵・小次郎像

武蔵像は下関市の廣瀬直樹氏、小次郎像は小次郎とゆかりのある岩国市の彫刻家・村重勝久氏がデザインしました。除幕時にはNHK大河ドラマで武蔵役・小次郎役を演じた市川團十郎さん、松岡昌宏さんも出席されました。海峡を背景にしたこの躍動感溢れる像は、巖流島のシンボルとして観光客の皆様にも愛されています。

⑩ 決闘の聖地「巖流島」上陸記念

平成30年12月竜王戦第7局の決戦前日に羽生善治竜王(当時)と広瀬章人八段が上陸し、記念手形を残しました。

INFORMATION

★ポケモンマンホール「ポケふた」

巖流島をイメージした世界に1枚だけのオリジナルデザイン。アーボ(へびポケモン)とドガース(どくガスポケモン)が描かれています。



©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリエーターズ・ゲームフリークの登録商標です。

宮本武蔵と佐々木小次郎

「決闘の聖地」

巖流島



武蔵も小次郎も吉田松陰も坂本龍馬も 斎藤茂吉もアントニオ猪木も羽生善治も… 皆が訪れた決闘の聖地「巖流島」 敗者への想いが息づく島 四〇〇年余りの時を越えて新たな歴史が刻まれる…

関門海峡観光推進協議会

下関市観光政策課 ☎083-231-1350
 北九州市門司港レトロ口課 ☎093-322-1188

関門海峡エリアの情報が満載!!
<http://www.kanmon.gr.jp/>



巖流島の決闘

1612(慶長17)年4月13日に、長門の国船島(現在の巖流島)で宮本武蔵(当時29歳)と佐々木小次郎が決闘をしました。武蔵は、細川興長らの決闘の承諾を受け、小次郎に決闘を申し込みました。約束は辰の刻(午前8時)でしたが、武蔵の到着が遅れ島に着いたのは、巳の刻(午前10時)になりました。小次郎は波打ち際で武蔵を迎えました。遅参に怒った小次郎は鞘を投げ捨て、刃渡り三尺はありそうな刀を抜きました。武蔵の前頭部に振り下ろされたが、刀は武蔵の鉢巻の結び目を切っただけで、かわりに武蔵の長い櫂(かい)が小次郎の頭を打ち砕き、小次郎は、ぱたりと倒れました。武蔵はどどめを刺すことも忘れ舟へ飛び乗り、下関へと急ぎました。敗者を想う地元の人々は敗れた小次郎の流派をとって後に「巖流島」と呼ぶようになりました。
※武蔵と小次郎の決闘については諸説あります。

下関 SHIMONOSEKI



巖流島上陸認定証発行!

関門汽船唐戸1・2号棧橋そばの関門汽船発券所で、巖流島奉行が発行する「巖流島上陸認定証」を購入できます。認定証に返信先等を記入の上、同発券所窓口にお渡しください。旅の記念やお友達のお土産にも最適です。(¥100/郵送料込み)

直行便航路 所要時間 約10分

関門汽船発券所(臨時観光案内所)
巖流島に関する情報はもちろん、城下町長府など下関市内観光全般の案内をしています。

料金については、運航会社へお問い合わせください。

巖流島航路時刻表

唐戸⇄巖流島				門司港⇄巖流島			
唐戸1号棧橋発	時	巖流島発		門司港発	時	巖流島発	
05 45	9	35		20	9	20	
25	10	15 55		00 40	10	00 40	
05 45	11	35		20	11	20	
25	12	15 55		00 40	12	00 40	
05 45	13	35		20	13	20	
25	14	15 55		00 40	14	00 40	
05 45	15	35		20	15	20	
25	16	15 55		00 40	16	00 40	

ゴールデンウィーク期間中・夏休み期間中・年末年始・連休など運航時間が変更されます。詳細は運航会社にお問い合わせください。運航時刻等は予告なく変更される場合がありますので、事前に運航会社へお問い合わせください。天候、諸事情により運航ダイヤは変更される場合があります。事前にご確認ください。

※入島の際は最終便の時刻を十分ご確認ください。

巖流島へのアクセスは...

- 下関側**
 - 下関ICより海響館方面、関門汽船唐戸1・2号棧橋より船10分(近隣有料駐車場有り)
 - JR下関駅よりバス7分唐戸下車、関門汽船唐戸1・2号棧橋より船10分
 - JR新下関駅よりバス25分唐戸下車、関門汽船唐戸1・2号棧橋より船10分
- 門司港側**
 - 門司港ICより車で10分、マリンゲートもじより船10分(近隣有料駐車場有り)
 - JR門司港駅より徒歩2分、マリンゲートもじより船10分

トライアングルフリーパス

先に巖流島に行くもよし、先に対岸(門司港・下関)に行くもよし。関門連絡船にも、巖流島航路にも。1日乗り放題の大変お得なきっぷです。下関・門司港・巖流島の散策におすすめです。

運賃 大人1,000円 小人500円
1日乗り放題
窓口にて好評発売中!

関門汽船株式会社 ☎083-222-1488(下関側)・☎093-331-0222(門司港側)

※トライアングルフリーパスは割引運賃のため団体割引・身体障害者割引等、他の割引との併用はできません。※安全上、運航に支障を来すと予想される日(台風等)や、大変混雑が予想される日(海峽花火大会、巖流島でのイベント時等)は販売を見合わせる場合があります。

巖流島対決
尖の山(山頂)立体駐車場1階にある顔出し看板。

唐戸はれて横丁
唐戸商店街の一角に位置し、昼夜問わずハシゴして楽しめる唐戸はれて横丁には、山口のグルメを満喫できる店舗が大集結。個人から団体までお楽しみいただけます。
●営業時間/11:00~26:00
●定休日/水曜日

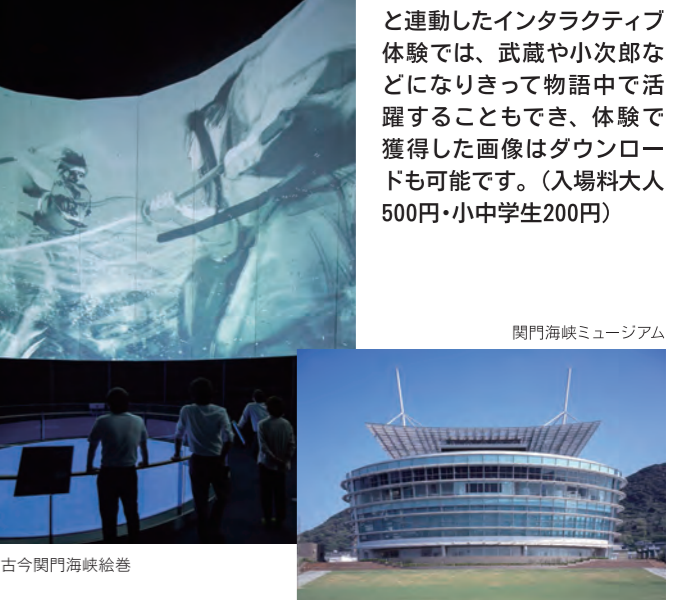
門司港の観光は潮風号で!
大正ロマンのまち門司港レトロ地区と関門海峡の早瀬の瀬戸を望む和布川地区を結ぶ観光用のトロッコ列車です。
●料金片道
大人 300円
小人(小学生) 150円
●1日フリー乗車券
大人 600円
小人(小学生) 300円
●運行日
土・日・祝日(元旦運休)
●平成筑豊鉄道門司港営業所 ☎093-331-1065

宮本武蔵の碑・佐々木小次郎の碑
門司区と小倉北区の境に手向山(たむけやま)という小高い山があります。この山は現在、公園として整備され、公園の中を散歩するといくつかの史跡にめぐり合うことができます。1654(承応3)年に武蔵の養子、宮本伊織が建てた武蔵顕彰碑や1951(昭和26)年に、村上元三氏の小説の完成を記念して建てられた佐々木小次郎の碑があります。

門司港 MOJIKO

古今関門海峡絵巻

2019年9月にリニューアルオープンした関門海峡ミュージアムでは、国内最大級のセイル(帆)スクリーンで、「巖流島の決闘」などの大迫力アニメーション映像をご覧ください。



武蔵顕彰碑



武蔵 巖流島年表

- 1582(天正10年) 宮本家系図による武蔵出生
- 1584(天正12年) 五輪書による武蔵出生
- 1600(慶長5年) 関ヶ原の戦い、武蔵、西軍として参戦
- 1612(慶長17年) 4月13日 宮本武蔵と佐々木小次郎が決闘、武蔵没す
- 1645(正保2年) 武蔵没す
- 1849(嘉永2年) 吉田松陰が上陸、小次郎の墓に参る
- 1867(慶応3年) 坂本龍馬とおりょうが巖流島で花火を上げる
- 1910(明治43年) 「佐々木武蔵之碑」建立
- 1921(大正10年) 斎藤茂吉が島渡る
- 1973(昭和48年) 「わが心、たゞ悲しむる島に命おとし人をしぞわせよ」島に残った最後の老人が島を去り、居住者ゼロとなる
- 1987(昭和62年) アンソニー猪木とトナチ香藤のプロレスマッチ興行
- 1990(平成2年) 巖流島で岡山県大原町(武蔵出生地)と福井県今立町(小次郎出生地)が、下関市熊本市両市長の立会のもと、姉妹縁組に調印
- 2002(平成14年) 小次郎像完成
- 大河ドラマ「小次郎」のTOKIOの松岡昌宏氏 臨席のもと除幕式開催
- 2003(平成15年) NHK大河ドラマ「武蔵 MUSASHI」放映開始 武蔵像完成
- 大河ドラマ「武蔵」の市川新之助(現市川團十郎氏 臨席のもと除幕式開催
- 2012(平成24年) 武蔵小次郎巖流島決闘400周年 巖流島決闘十番勝負開催
- 2018(平成30年) 羽生善治竜王(当時)と 広瀬章人八段(当時)の手形を設置
- 2022(令和4年) 舞台「巖流島」の製作発表会見が武蔵小次郎像前で実施され、武蔵役の横濱流星氏、小次郎役の中村隼人氏、演出の堤幸彦氏の3人が集結